

2月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館日：8時35分 ～ 16時45分 (春休み中は16時まで)
 閉館日：図書館はお休みです
 ※ 生徒の完全下校は、16時30分です

日本の暦

皆さん「旧暦(きゅうれき)」をご存知ですか？
 地球が太陽を1周する長さを1年とする太陽暦と、月が新月から次の新月になるまでを1か月とする太陰暦を合わせた考え方で、明治時代に「改暦の詔書(しょうしよ)」が出されるまで、日本の暮らしになくてはならないものでした。

季節を春夏秋冬に分けただけでなく、二十四節気(立春、春分など)のほかに七十二候という分け方で、季節の移ろいを表していました。

「新暦」で慣れてしまっているわたしたちですが、「旧暦」を感じることで趣(おもむき)のある時節を感じてみてはいかがでしょうか。

「旧暦」では、『立春(新暦の2月4日頃)』から一年が始まります。

今一度、気持ちを新たに新年をスタートしましょう。



抹茶を点(た)ててみませんか

スマホやパソコン、忙しい日常を抜け出して気分を変えてみましょう

抹茶の日

2月6日



～モンテール スイーツ学園～

愛知県西尾市茶業振興協議会が西尾茶創業120年を記念して制定しました。茶道で釜をかけて湯をわかす道具に風炉(ふうろ)がありますが、この「ふ(2)ろ(6)」の語呂合わせから2月6日を『抹茶の日』と定めたそうです。

抹茶味は、アイスクリームやケーキなど、今やスイーツの定番として人気ですね。

抹茶には人をホッとさせる効果があるのです。

抹茶は煎茶に比べると渋味成分のアミノ酸「カテキン」の量が少なく、代わりに旨味成分のアミノ酸「テアニン」が多くふくまれています。これが脳や神経に作用してホッとリラックスさせる効果があるそうです。



(風炉の一例)



「はじめての茶の湯」



「はな、茶の湯に出会う」



「茶の本」
日本人の心のふるさとを知るための書。

茶の湯とは
ただ湯をわかし 茶を点ててのむばかりなる事と知るべし

(茶の湯というのは
ただ湯を沸かして 茶をたて
飲むだけのことで
それができていますか)



千利休(せん の りきゅう)

風 炉

(ふうろ)

茶道具の一種。席中で釜をかけ湯を沸かすのに用いる唐銅製・鉄製・土製・木製などの炉のことです。古くは切合風炉が用いられていました。現在は5月から10月にかけて用いられます。

※ 参考文献 新版 茶道大辞典 淡交社



「日は好日」
お茶を習い始めて二十五年。季節を五感で感じる喜び。

